

「膵癌の病理組織検体を用いた免疫組織化学染色およびマイクロ RNA 発現解析による診断の有用性」に対するご協力をお願い

抗がん剤の効き目には個人差があり、同じ治療を受けても、よく効く患者さんとあまり効果のない患者さんがいます。このような治療効果の差は、がん組織中の遺伝子やたんぱく質などの変化が関係していると考えられており、それぞれの患者さんの特徴にあわせた治療薬、治療法を選択することを「最適化治療」といいます。「最適化治療」を行うには、薬の治療効果を予測するマーカーが必要です。この研究を通して、がん組織中のタンパク質や遺伝子の発現量の変化やその分子の働きを調べることで、治療効果の期待できるタンパク質や RNA を見出すことにより、膵臓がんの患者さんによりよい治療法を提供することができるようになるのではないかと考えています。

この研究では、診断・治療目的にてすでに採取されているがん組織検体を用いて、がん細胞が作るタンパク質や RNA を測定し、その機能を調べることによって治療薬につながるようなタンパク質や RNA を見出すことで、よりよい治療法を探索することを目的としています。

対象となる患者さま：

2018年1月1日～2021年4月30日に、奈良県立医科大学附属病院にて膵臓がんと診断され、手術を受けられた患者様

研究の方法：

手術によって摘出された腫瘍組織検体を用いて、病理組織診断と同様の方法で、がん細胞が作っていると予想されるタンパク質の免疫組織化学染色を行うことと、がん組織から RNA を抽出し、腫瘍細胞の増殖に関係すると思われる RNA の量を測定します。さらにその分子の働きを調べることで、治療薬として有効であると見込める分子を探索することを目的にしています。

既に採取した組織検体から調べますので、本研究により新たに検体採取や費用など何かをお願いすることはありません。

研究課題名：膵癌の病理組織検体を用いた免疫組織化学染色およびマイクロ RNA 発現解析による診断の有用性

研究責任者：藤井智美（奈良県立医科大学病理診断学講座 准教授）

研究期間：研究実施許可日 ～ 2023年3月31日

研究の実施体制：奈良県立医科大学附属病院で手術を施行された方のみを対象とし、奈良県立医科大学病理診断学講座にて診断され、保管されている病理組織検体を用いた研究を実施します。

個人情報保護に関する配慮：

本研究で用いられる患者さまの組織標本と診療記録は、本研究専用で別途割り当てられた管理番号（管理 ID）を用いて厳重に管理されます。個人情報ならびに患者さま情報は、外部から遮断された（インターネットに接続していない）コンピューターで入力を行います。本研究の結果は、患者さまにプライバシー上の不利益が生じないよう、適切に匿名化されていることを確認した上で使用いたします。

問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840 番地

奈良県立医科大学 病理診断学講座

藤井 智美（研究責任者）

TEL：0744-22-3051

なお、この研究は本学 医の倫理審査委員会の承認を受け学長の許可を得たものです。